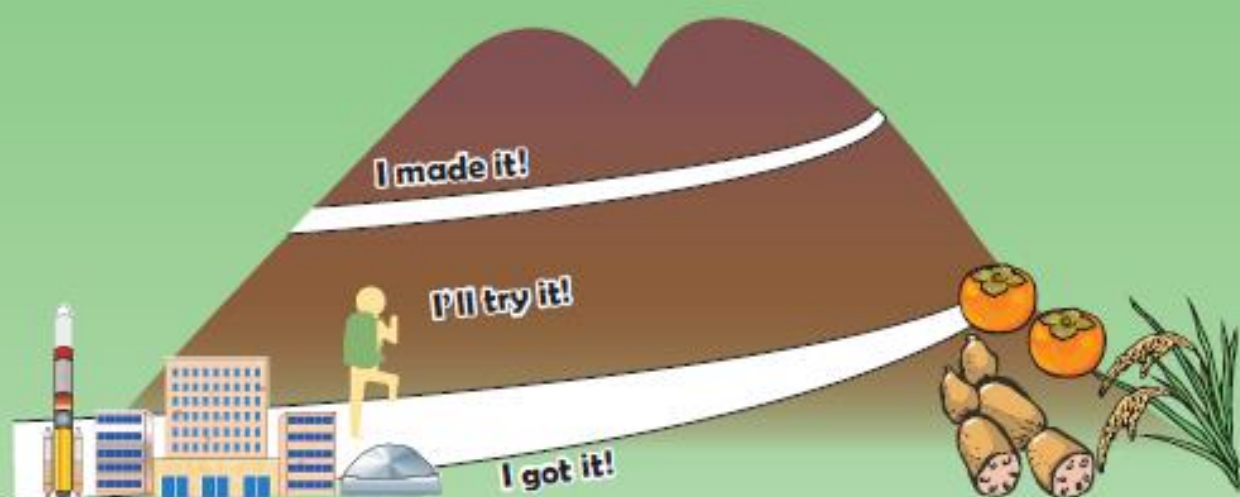


土浦一高生のための

「国際」 教本

グローバルキャリアを身につける課題研究の方法

A road to **Global Leaders**



Global Career Design / Advance

茨城県立土浦第一高等学校

目次

グローバル時代に生きるとは	2	第8章 外国人の先生の授業を受けよう	68
序章	4	第9章 パソコンスキルを身につけよう	70
スーパーグローバルハイスクール (SGH) の仕組みとは?		第1回 ワード	
第1編	8	第2回 エクセル	72
課題研究でグローバル人材になろう		第3回 パワーポイント	74
第1章 課題を探求しよう	10	第4回 電子メール	76
第1回 研究とは	12	第5回 情報発信	78
第2回 研究の構造	14	第6回 統計分析・情報リテラシー	80
第3回 自分を見つめ直す	16	第10章 著名人の講演を聴こう	82
第4回 ブックトーク	18	第11章 企業・研究所を訪問しよう	84
第5回 テーマを決める	20	第12章 活躍する卒業生の話を聴こう	86
第6回 情報カードの活用	22	第13章 進路について考えよう	88
第7回 フィールドワーク	24		
第8回 研究の見通し	26	第2編	91
第9回 データの取り扱い	28	グローバル・リーダーを目指そう	
第10回 レポート作成	30	第14章 グループ活動をしよう	92
第11回 プレゼンテーション	32	第15章 全国の高校生と交流しよう	94
第12回 社会に提言	34		
論文 [発展]	36	第3編	97
プレゼン [発展]	38	活動を他の人に知ってもらおう	
第2章 大学の先生の講義を受けよう	40	第16章 課題研究の内容を発表しよう	98
第3章 留学生に質問してみよう	44	第17章 他のグローバル高校生とディスカッションしよう	102
第4章 海外の大学とつながろう	48	第18章 株式学習ゲームをしよう	104
第5章 ビジネスを考えよう	50	終章 研究を振り返って	106
第6章 海外の高校生と交流しよう	62	巻末資料	108
第7章 海外でフィールドワークしよう	64		

グローバル時代に生きるとは

現代社会がグローバル化ないしグローバリゼーションの時代といわれて久しい。グローバルとは何だろう。手元の英和辞書によると「全世界の、世界的な、地球上の」¹とある。それでは、どのような現象が、地球規模で起きているのだろうか。

グローバリゼーションとは何か。国際通貨基金(IMF)によれば、経済学、政治学、歴史学などの専門分野による若干の違いはあるが、国境を越えるさまざまな財産とサービスの取引、国際的な資本の流れを通じて、さらにはテクノロジーのより急速にして広汎な普及を通じて、世界中の国々が相互依存をますます強めていく状態²であるという。つまり「ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて地球規模で移動する現象」と言い換えることができる。運搬や輸送、情報伝達技術などのめざましい発展がこの現象に大きく寄与していることは間違いないであろう。これらの技術の発展、とりわけインターネットの急速な拡大は、1990年代に入り、物理的な空間、時間の「間」を大きく縮め、わたしたちに相互依存の「ネットワーク社会」を提供したのである³。いまやこのネットワークは、わたしたちを地球の裏側にいる人びととダイレクトにつなげてくれる。さらに情報伝達技術の大容量化、高速化は、わたしたちを取り巻く世界をますます身近なものにし、相互依存をさらに強めるだろう。このように相互依存によって規定されるグローバリゼーションの現代社会において、従来の国民国家の枠組みのみに守られて生きていくことは、もはや困難な局面にある。

一方で、グローバル化の進展に伴い、その反動と思われる現象も現代世界では多々見受けられるようになった。たとえば、2001年9月11日のアメリカ同時多発テロの発生、昨今の過激派組織「IS」の台頭、アルカイダの活性化、2015年1月に発生したフランス・パリ市内でのテロの発生などの宗教対立、東アジア地域に見られるナショナリズムの台頭、アフリカなどで続発する民族紛争、増大する経済格差などは、まるでグローバル化の進展と連動するかのよう諸価値の衝突が続発している。すなわち、グローバリゼーション(グローバル、地球レベルの現象・過程)と同時に、あるいは連動してローカリゼーション(ローカル、地方・地域レベルの現象・過程)が生起⁴しているのが現状であろう。グローバル化の進展に伴い、世界は画一化し、平板化し、単純化するという見通しは立たなくなっている。世界はグローバリゼーションによって多元化し、複雑化し、カオス状態になりつつある。そこでわたしたちは、このようなカオス状態にあるグローバリゼーションの現代を生き抜くためにはどうすればいいのだろうか。いまわかっていることは、従来の価値体系のなかで得られる知識だけでは複雑化するグローバリゼーションの現代世界を生き抜くことは困難であろうということだけである。従来の知識も十二分に活かしたうえで、現代に対応する新たな知恵を早急に獲得しなければならない。そのためにまずは、混沌としたグローバリゼーションを正確に認識する準拠枠の構築から始めよう。そのうえで、土浦一高に入学した君たちが、グローバル化する現代世界をリードしていこう。

グローバル化・グローバリゼーションとは？

- 1. 「ヒト、モノ、カネ、情報」が国境を越えて移動する現象
- 2. 相互依存が高まる



「グローバリゼーション」を把握するための新たな判断基準が必要では……



この教科書の使い方

本書は土浦一高の教科「国際」のための教科書である。1年生全員が必修の「グローバルキャリアデザイン」と、2年生のSGH国際コース生徒が履修する「グローバルキャリアアドバンス」の授業で使用する。本書の構成は各プロ

グラム別の配列となっており、必ずしも実施プログラム順ではない。プログラム実施に合わせ、該当箇所を学習に使用しよう。

各プログラムの大まかな実施時期を下の表に示す。

表 各プログラムの大まかな実施時期

目標	プログラム名	1年生	2年生	3年生
課題設定, 課題解決のための思考力	[K1] 課題探究活動	通年	通年	通年
	[K2] 大学教員の講義	10月生命環境系	5月社会工学系	
	[K3] 留学生ワークショップ	7月社会工学系	10月生命環境系	
	[K4] 海外大学との連携		8月	
人的ネットワーク構築術	[K5] 起業教育プログラム	4月社会工学系 9月筑波銀行講演 12月起業家講演	4月起業家訪問 6月起業家訪問 10月ビジネス交流	
	[K6] 海外高校との交流		8月	
	[K7] 海外フィールドワーク	3月	8月	
英語・ICTスキル	[K8] 外国人教師の授業	毎月1～2回		
	[K9-1] ICT活用授業	4～6月		
幅広い視野	[K9-2] 文化講演会	10月	10月	10月
	[K9-3] 企業・研究所訪問	11月		
	[K9-4] OBOGガイダンス	2月	11月	
	[K9-5] 進路講演会	12月	12月	6月
コミュニケーション能力	[G1] サマースクール		8月	
	[G2] リーダー研修会	8月	8月	

(参考文献)

- 『ジーニアス英和辞典』大修館書店。
- IMF, *World Economic Outlook*, May 1997, p. 45.
- この急速な発展の要因については、佐和隆光「グローバル化の意味を問い直す」京都大学経済研究所応用金融工学(野村証券グループ)寄付研究部門シンポジウム 2004年のレジュメより。
- 上杉富之「グローバル研究を超えてーグローバル研究の構想と今日的意義についてー」『グローバル研究』2014年, pp.1-20.